

本号の表紙絵は『和漢三才図絵』所載の古地図から採った。同書は大坂の医師寺島良安(字は尚順)の編著にかかる図入りの百科事典で、正徳二年(1712)の自序(跋は同五年〔1715〕)を持つ。それによれば、良安は和氣仲安の「医師となるものは、天文・地理・人事を知ってはじめて疾病を語ることができる」との教えを守って、三十余年にわたって和漢の文献を渉獵して記録し、これを明の王圻の『三才図絵』(万曆三五年〔1607〕の自序がある)にならって編述した。なお、三才は天地人の意。写本のほか版本(1824ほか)、明治以降も各種の活版本・複製本がある。